

成長戦略

次世代テクノロジーの活用

イノベーション・デジタル化の推進

- ・スマート加賀IoT推進事業
- ・業務効率化に向けたRPAの導入
- ・AIの導入（ホームページ検索、道路パトロール等）



挑戦の年

平成31年度(2019年度) 加賀市当初予算主要事業の概要一覧

妊娠期から子育て期までの

切れ目ない支援を拡大

かがっこ応援プロジェクト2019

- ・ 保育園等の給食費（副食費相当額）を無料化
- ・ コンピュータクラブハウスの運営
- ・ 小中学校教育支援員の大幅増員



持続可能で強靱な地域づくり

世界首長誓約／日本

- ・ 温暖化防止実行計画の策定（気候エネルギー行動計画）
- ・ エネルギーマネジメントの導入調査
- ・ 自治体新電力事業の推進



将来への備え



加賀市
平成31年2月

ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり(基本方針3)

IoTの推進

IoT 技術を活用できる人材の育成・発掘と、それらの人材が取組む新規創業を支援するとともに、IoT 技術等を活用した市内の産業の高度化、新たな起業の創出、ベンチャー企業の誘致等を促進します。

1 スマート加賀IoT推進事業 119,680 千円 (P19)

- (1) IoT 人材育成事業 53,000 千円
大学等と連携し、IoT 関連の研究を行うとともに、経営者や技術者向けの講習等を行います。
- (2) 人材育成の拠点運営事業 20,000 千円
平成 30 年 4 月より供用開始した「加賀市イノベーションセンター」の運営を行います。
- (3) IoT 導入実証事業 20,000 千円
中小製造業や農業分野等において、生産効率の向上など IoT 技術の導入・普及のための実証事業を行います。
- (4) その他の事業 26,680 千円
ロボレーブジャパン国際大会の開催や IoT 技術を導入するための相談等を行います。



将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり(基本方針7)

デジタル化の推進

デジタル技術の利活用により、行政サービスの向上や事務改善、また、データに基づいた政策立案を推進することにより、行政の「生産性の向上」の実現を図ります。

2 (新規) 業務のデジタル化調査事業 3,500 千円 (P17)

市役所業務のデジタル化推進のための検討及び調査を行います。



3 (拡充) 業務効率化に向けたRPA 導入推進事業 15,700 千円 (P18)

「IT (IoT) 技術を活用した業務の効率化」を図るため、パソコン上で処理をする一連の定期的な作業を自動化するRPA を導入します。平成 31 年度 (2019 年度) は福祉分野 2 事業を追加予定

【新規事業 (29 件 565,081 千円)】 【拡充事業 (12 件 390,938 千円)】
 (基本方針●) は、「第2次加賀市総合計画」における7つの基本方針を示します。
 ※ (POO) は、別冊「予算説明会資料」を参照

安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり(基本方針1)

プログラミング教育の推進

プログラミング教育のさらなる推進を目的とし、ICT（情報通信技術）による学習環境の整備を拡充します。

4 (拡充) プログラミング教育推進事業 20,900 千円 (P58)

小中学校におけるプログラミング教育の必修化に先駆け、指導の中核となる教員を養成するとともに、ITクラブ・IT部活やプログラミング教材を活用した授業を充実します。

5 (新規) コンピュータクラブハウス運営事業 10,000 千円 (P60)

すべての子どもたちが、テクノロジーに触れられる場所（イノベーションセンター内）を提供します。



教育環境の充実

児童生徒が学習しやすい環境づくりや教職員の負担軽減のため、学校の整備や教職員の働く環境の整備を行います。

6 小学校普通教室等冷房化事業 194,400 千円 (P54)

動橋小、作見小の普通教室等の冷房化を行います。※この他に、3月補正で12校分を計上

7 中学校普通教室冷房化事業 51,000 千円 (P54)

東和中の普通教室の冷房化を行います。※この他に、3月補正で山中中分を計上

8 小学校トイレ洋式化整備事業 14,500 千円 (P54)

分校小、南郷小のトイレの洋式化を行います。



9 (拡充) 学校教育環境改善事業 88,532 千円 (P59)

教職員の業務が多忙化するなか、教育支援員を増員するとともに、教育業務アシスタント等を配置し、児童生徒の教育環境を向上させます。

10 教育交流活動事業 10,460 千円 (P56)

台湾やシンガポールの児童生徒との教育交流を行います。また、中国で行われるロボレーブ世界大会に、加賀大会で優秀な成績を収めた児童生徒を派遣します。

11 シンガポール工科大学インターンシップ受入事業 1,900 千円 (P56)

シンガポール工科大学と締結したインターンシッププログラム等の相互協力の覚書に基づき、学生のインターンシップの受入れを行います。

12 家庭教育支援事業 658 千円

「家庭教育支援条例」に基づき、子どもに必要な生活習慣や社会のルールを身に着けることを目的に、講演会や家庭教育支援を担う人材の養成等を行います。

13 加賀温泉郷マラソン開催助成事業 29,650 千円

加賀温泉郷を巡る周回コースでのマラソン大会を開催します。



14 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催助成事業 7,000 千円

間寛平氏がプロデュースする、ナイトマラソン大会を山中温泉及び東谷地区を中心に開催します。

15 (拡充) 海外オリンピック選手事前合宿誘致事業 6,000 千円 (P61)

東京 2020 オリンピックの事前合宿地としての選定をうけるために、日本国内で開催される世界大会等で訪日するポルトガル・台湾選手の合宿受け入れを行います。

16 (新規) 武道館整備事業 28,700 千円 (P61)

本市が、東京 2020 オリンピックのホストタウン（ポルトガル柔道）に決定したことにより、選手が事前合宿の際に、練習場として使用する武道館の改修を行います。



17 (仮称) 橋立自然公園健康グリーンパーク整備事業 267,200 千円 (P62)

市民の健康づくりの拠点として、グラウンドゴルフやパークゴルフ等のスポーツ競技やウォーキング等の運動ができる広場を整備します。(2019年10月完成予定)

18 かがく宇かんプロジェクト事業 5,770 千円 (P53)

中谷宇吉郎の研究領域であった「自然科学」と、造詣が深かった「芸術」をテーマとする研究教育の取組みを推進し、発信することにより、市の知名度の向上とともに、市民の教養の醸成を図ります。

観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり(基本方針2)

第2次加賀市観光戦略プランの推進

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催、2023年の北陸新幹線加賀温泉駅開業、2025年の大阪万博開催を見据え、都市圏及び海外からの誘客を積極的に図ります。

19 海外都市交流事業 10,000 千円 (P34)

台湾やシンガポールを始めとする海外の都市との更なる交流を深めるため、継続的な訪問及び招致を展開します。

20 インバウンド推進事業 10,800 千円 (P34)

海外からの誘客を促進するために、国際旅行博・物産展への出展や海外メディア等へのプロモーションを行うとともに、外国人に対応できる人材の育成やキャッシュレスに対応できる環境の整備を支援します。

21 (新規)(仮称)北陸・長野ルート推進事業 2,500 千円 (P35)

大阪観光局とともに、大阪を起点・終点とする、国際競争力の高い上質な回遊ルートの造成により、海外からの誘客を推進します。

2.2 越前加賀インバウンド推進事業 9,647千円 (P35)

越前加賀インバウンド推進機構（加賀市、あわら市、坂井市、勝山市、永平寺町）において、宗教文化や食・温泉・自然等の観光資源を結び付けた広域的な旅行ルートを造成し、首都圏や海外に対し滞在型観光誘客を推進します。

2.3 観光地ブランド化推進助成事業 24,000千円

山代・山中・片山津の三温泉のブランド価値を高めるために、各温泉の観光協会が行う取組みに助成を行います。



2.4 三温泉観光誘客助成事業 40,800千円

山代・山中・片山津の三温泉の魅力創出や情報発信、また、鉱泉源の維持管理や配湯施設の更新に対して助成を行います。

2.5 加賀温泉郷誘客促進事業 19,500千円 (P36)

都市圏への戦略的な事業を展開し、加賀温泉郷への誘客を促進します。

2.6 温泉地回遊性向上事業 2,600千円 (P36)

温泉地に滞在性を高めながら、2次交通や食べ歩きサービスのサービスを合わせた商品等を企画し、回遊性の向上を図ります。

2.7 加賀温泉郷DMOによる温泉旅館雇用促進プロジェクト事業 15,000千円 (P37)

加賀温泉郷DMOを中心に、官民一体での温泉旅館の人手不足解消に向けた働き方改革を進め、雇用促進を図ります。また、プロフェッショナル人材による地域観光マネジメントの推進を図ります。

2.8 (新規) 北陸新幹線金沢開業5周年に向けたJRタイアップ事業 6,000千円 (P37)

JR西日本とタイアップして、金沢・加賀温泉郷エリアを舞台にした「名探偵コナン」のミステリーツアーを行うことにより、JRを利用した観光誘客を促進します。

2.9 都市圏戦略プロモーション事業 20,000千円 (P37)

加賀温泉郷への観光誘客を促進するため、特に若者層に対する都市圏への戦略的なプロモーションを展開します。

3.0 旅行商品企画販売促進PR事業 18,500千円 (P38)

加賀温泉郷の旅行商品化に向け、旅行業者へのトップセールスを行うとともに、送客機関とのタイアップによる旅行商品の企画造成を行います。

3.1 加賀温泉郷情報発信事業 10,000千円 (P38)

加賀温泉郷全体の情報発信と誘客活動（メディア、インターネットを活用した宣伝、情報発信、「かがやき大使」によるPR等）を行います。



3.2 東京2023加賀プロジェクト事業 8,000千円 (P38)

北陸新幹線敦賀延伸を見据えた加賀温泉駅開業に向けたPR動画の第3弾等を制作し配信します。

柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト

柴山潟の自然、眺望景観、歴史文化を重要な観光資源と位置づけ、温泉地、旧跡、柴山潟湖畔をつなぎ、まちと水辺をめぐる散策ルートの整備を行います。

3.3 湖岸遊歩道整備事業 123,600 千円 (P50)

柴山潟の湖畔と温泉街をつなぎ、眺望景観と水辺空間を活かしたまちづくりのため、柴山潟周辺の湖岸遊歩道の整備を行います。

3.4 柴山潟湖岸遊歩道周遊ルート基本計画策定事業 5,700 千円 (P50)

源平橋から八日市川河口付近までの一部区間について、遊歩道周遊ルートを整備するための基本計画を策定します。



3.5 修景緑化事業（新堀川沿い） 1,900 千円 (P50)

新堀川沿いで、観光地のお出迎えに相応しい場所として、修景の緑化を行います。

3.6 （新規）民間遊休地活用調査事業 2,000 千円 (P50)

柴山潟湖畔の民間遊休地の活用・活性化に向けた土地の調査を行います。

3.7 ガーデンシティ構想推進事業 4,600 千円

「ガーデンシティ構想推進プラン」に基づき、観光地や歴史的まちなみに花や緑の彩りを市民協働で継続的に行います。

ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり(基本方針3)

3.8 企業誘致推進事業 9,200 千円 (P44)

市内への企業誘致活動を行うとともに、企業が進出する際の候補地の調査や、企業誘致イベントへの出展、参加を行います。



3.9 （拡充）まちなか店舗立地支援事業 8,000 千円

地域商業の活性化や街なかの賑わい創出を図るため、商業店舗の新規出店や店舗改装を行う方に経費の一部を助成します。

4.0 （新規）加賀市プレミアム付商品券事業 107,500 千円 (P43)

消費税引き上げが消費に与える影響を緩和するとともに、市内での消費を喚起・下支えするため、国庫補助金を活用し、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券を発行します。

額面2万5千円を2万円で販売（分割販売も可能）

対象者数 低所得者 15,000人 子育て世帯主 1,200人

4.1 （新規）希少伝統的匠の技後継者養成事業 1,800 千円

希少で伝統的な匠の技術を後世に残すため、後継者となる意思を持つ方と、その技術指導者に対し、奨励金を交付します。（対象事業：吸坂飴）

豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり(基本方針6)

北陸新幹線加賀温泉駅の周辺施設整備

4.2 (新規) 加賀温泉駅都市施設建設事業基本設計・実施設計事業 50,000千円 (P48)

新幹線駅舎の高架下の都市施設、駅前広場に建設する全天候型屋根施設及び歩行者用通路の基本・実施設計を行います。

4.3 (新規) 加賀温泉駅前広場実施設計及び路線測量事業 28,350千円 (P48)

駅前の交通施設や周辺都市施設の強化・充実を図るため、駅前広場の実施設計や測量を行います。



4.4 (新規) 加賀温泉駅前広場用地購入及び整地事業 58,706千円 (P48)

土地開発公社で先行取得している駅前広場の用地の一部を取得し、工作物を撤去し、整地します。

4.5 加賀温泉駅前広場支障移転事業 2,800千円 (P48)

新幹線駅舎工事において、作業ヤードが現在の駅前広場に食い込む形で拡大するため、支障となるバス、タクシー乗降場や駐車場の機能を段階的に移転するための工事を行います。

4.6 (新規) その他事業 9,644千円 (P48)

新幹線駅舎工事の影響で取り壊される駅前広場施設の仮想工事算定業務、消雪装置の強化を図るための既存井戸の調査、敷地内を通る暗渠排水路の調査を行います。



安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり(基本方針1)

かがっこ応援プロジェクト2019

47 (新規) 保育園等給食費無料化事業 24,070千円 (P28)

2019年10月からの幼児教育無償化に伴い、実費徴収化される副食費(おかず等)相当額を助成し、無料化します。

48 (拡充) 不妊治療費等助成事業 9,360千円 (P28)

費用が高額となる体外受精等の特定不妊治療費の1回あたりの助成額を5万円から10万円に引き上げます。

49 (新規) コンピュータクラブハウス運営事業 10,000千円 (P60) (再掲)

50 (拡充) こども医療費助成事業 214,908千円 (P29)

こども医療費助成のうち、償還払いにより助成していた柔道整復師等の療養費についても2019年10月から現物給付化(窓口無料化)します。



51 (新規) 保育士のキャリアアップ研修会開催事業 551千円 (P29)

多様な課題への対応や若手の指導等を行う保育士のリーダーを養成するとともに、資質向上を図るための研修会を開催します。

52 医療的ケア児支援事業 2,032千円 (P28)

医療的ケアを必要とする児童が、訪問看護等を受けながら、安心して保育園等で生活できる支援体制を確保します。

53 子ども・子育て支援事業計画策定事業 2,500千円

平成30年度に実施したニーズ調査に基づく検討結果をもとに、子ども・子育て支援に係る事業計画を策定します。



54 (新規) 学童クラブさくみっ子拡張整備事業 11,200千円 (P29)

手狭になっている「学童クラブさくみっ子」の拡張等を行い、活動環境の改善を図ります。

55 (拡充) こころの健康づくり事業 742千円 (P29)

中学生を対象に、様々な困難・ストレスへの対処方法を身につけるための講座を開催するほか、こころの健康相談や若年層・働き盛り世代等のこころの健康づくりの普及啓発を行います。

56 (拡充) 学校教育環境改善事業 88,532千円 (P59) (再掲)

57 中央公園遊具整備事業 30,000千円 (P30)

中央公園の「おとぎの国」をリニューアルします。



58 公園遊具更新事業 39,800千円 (P30)

「公園長寿命化計画」に基づき、都市公園9園10か所について、地域住民の安全と遊び場・交流スペース確保のため遊具の更新等を行います。

59 子どもの命を大切にす啓発事業 259 千円

「お腹の赤ちゃんを大切にす加賀市生命尊重の日条例」に基づき、講演会の開催や小学校でのふれあい親子体験学習（家庭教育支援事業と共同）等による啓発活動を行います。

60 奨学金事業 21,398 千円

- (1) 三森良二郎奨学金支給事業 9,120 千円 経済的に大学就学困難な学術優秀者へ無償支給を行います。
- (2) 奨学金支給事業 1,824 千円 経済的に高校就学困難な学術優秀者へ無償支給を行います。
- (3) 育英資金貸与事業 10,454 千円 経済的に就学困難な大学生や高校生へ無利子で貸与します。

豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり(基本方針6)

「世界首長誓約／日本」の推進

平成 30 年 11 月、「世界首長誓約／日本」に参加し、誓約書に署名を行いました。

- 誓約内容
- ① 持続可能なエネルギーを推進します。
 - ② 2030 年の温室効果ガス排出量は国の削減目標以上の削減を目指します。
 - ③ 気候変動の影響等に適応し、レジリエント(強靱)な地域づくりを目指します。

61 (新規) 温暖化防止実行計画(気候エネルギー行動計画)策定事業 6,500 千円(P15)

市内での温室効果ガスの削減目標や具体的な目標達成方策等を内容とする計画を策定します。

62 地域資源を活用したエネルギーマネジメント導入調査事業 10,000 千円(P16)

再生可能エネルギーによるエネルギーの地消地産を目的としたマネジメントシステムの構築に係る調査を行います。平成 31 年度(2019 年度)は、太陽光や農業用水を利用した発電の詳細検討等を行います。

いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり(基本方針4)

KAGA 健食健歩プロジェクト

行政、市民、大学、企業等の関係機関が協働し、「食」と「運動」をとおした「KAGA健食健歩プロジェクト」を展開することにより、市民の生涯を通じた健康づくりの推進を図ります。

63 (拡充) 健康づくり事業 9,965 千円(P31)(国民健康保険特別会計を含む。)

ウォーキングやラジオ体操の推進、タニタ健康プログラムの活用、健幸ポイント事業、市民団体との協働による健康づくりスローガンの普及等により、市民の健康づくりへの意識の高揚を図ります。平成 31 年度(2019 年度)からは、糖尿病予防対策を強化します。

64 ウォーキング教室開催事業 139 千円(P32)

「KAGA健康フェスタ」に併せて、市内各地区にあるウォーキングコースを使い、ノルディックウォーキング教室を開催します。



65 (拡充) 歯周病検診事業 5,898 千円 (P33) (国民健康保険特別会計を含む。)

生活習慣病の予防と歯周病予防を目的として、19 歳以上の集団検診に加え、30 歳以上の全市民への個別検診を行います。

66 医師招へい推進策事業 17,700 千円

関連大学との連携を強化し、研修医及び医学部在学生の受け入れ体制の充実や、病院の魅力を向上することで、加賀市医療センターへの医師の招へいを推進します。

67 (新規) 医療用AIシステム調査・導入事業 3,400 千円

診察現場の待ち時間の短縮と作業の効率化を図るため、AI問診システムを導入するとともに、AI画像診断、電子カルテの音声認識のほか、先進的なAIシステムを調査します。

68 スマートインクルージョン推進事業 4,700 千円 (P26)

AIやIoT等の最新技術を活用し、障がいのある人もない人も、すべての人が住みやすい社会の実現を図ります。平成31年度(2019年度)は、障がいのある人の情報一元化システムや、体調変化等を様々な方法で把握できるシステムの構築に向けた事業を行います。



69 (拡充) 手話施策推進事業 3,735 千円 (P27)

手話施策推進方針に基づき、啓発動画や手話講座開催による手話への理解の促進や普及啓発、手話人材確保に向けた手話通訳者等の資格取得助成等を行います。

みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり(基本方針5)

人口減少対策

70 ローカルベンチャー育成事業 65,700 千円

起業に意欲のある都市部の若者等を対象に、地域おこし協力隊の制度を活用し、本市の魅力を活かした起業支援を行い、本市への移住を促進します。

71 加賀市定住促進事業 9,000 千円

本市への新しい人の流れをつくることを目的に、コンシェルジュ(総合相談)の配置、お試し居住の実施、移住希望者への情報発信を行います。



72 加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業 19,300 千円 (P25)

40代以上の元気な中高年齢者に加え、若い世代の移住定住を促進するため、温泉を活用した健康増進プログラムの開発に取り組むとともに、認知症をテーマに国内外の有識者等が議論を重ねる「認知症国際アジア会議 in 加賀」を開催します。

7.3 移住住宅取得助成事業 37,900 千円

市外から転入し、住宅の新築や中古物件の購入費用に対して、70万円を基本額とし、子育て世代に対する各種加算等とともに、助成を行い、移住・定住の促進を図ります。

7.4 若年層定住住宅取得助成事業 30,000 千円

子育て世代である若年層の市内在住者に対して、住宅の新築や購入費用に対して、30万円を基本額とし、各種加算等とともに、助成を行い、定住の促進を図ります。

7.5 三世代ファミリー同居・近居促進助成事業 3,900 千円

祖父母、親、子の三世代が、新たに同居又は近居をするための住居の新築や増改築を行う場合、費用の一部の助成を行い、子育て環境を支援します。

7.6 (新規)(仮称)山代温泉広場整備事業 7,000 千円 (P45)

山代温泉にある廃業旅館が周辺に危険を及ぼしていることから、安全確保や景観改善のため、建物の解体と、跡地の有効活用に向け、解体の設計を行います。

7.7 (新規)地区会館整備事業 58,700 千円

勅使地区会館(昭和60年度築)の大規模改修を行います。



7.8 総合防災訓練開催事業 1,100 千円 (P22)

市と防災関連機関が協働し、市民主体の総合的な防災訓練を、山代地区を主会場として開催します。

7.9 防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)整備事業 297,600 千円 (P23)

移動系無線機(車載型5台、携帯型59台)・戸別受信機(約3,400世帯分)を整備します。

8.0 (拡充)防災活動推進事業 7,198 千円 (P22)

防災士の養成や備蓄用の食糧、備品等の購入等を行うとともに、1000年に1度の大雨を想定した新たなハザードマップを策定します。

8.1 (新規)地域BWAによる防災情報発信事業 1,080 千円 (P23)

加賀ケーブル株式会社が提供する地域BWA(高速データ通信サービス)を利用し、避難所におけるWi-Fi環境の整備を行うほか、監視カメラにより動橋川の水位を監視します。

8.2 消防力の強化事業 120,750 千円 (P52)

- (1) (新規)山中分署屋上防水等改修事業 8,350 千円
山中分署の屋上防水等の改修を行います。
- (2) (新規)分団車庫整備事業 47,550 千円
動橋分団、三木分団車庫を整備します。
- (3) 分団車整備事業 32,514 千円
東谷口分団、山中第3分団の消防ポンプ自動車を更新します。
- (4) 消防ポンプ自動車整備事業 32,336 千円
大聖寺分署の消防ポンプ自動車を更新します。



豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり(基本方針6)



83 文化的景観保存調査事業 12,000 千円 (P41)

国定公園区域を含む「加賀海岸」について、文化庁の定める「重要文化的景観」の選定を目指すため、文化的価値の調査、保存活用の検討を行います。

84 あいうえおの郷構想事業 2,800 千円 (P40)

山代温泉ゆかりの明覚上人の「五十音図」を柱とした日本語文化事業の実施・展開により、文化振興及び加賀温泉郷の知名度ブランド力の向上を図ります。

85 北前船日本遺産推進事業 2,142 千円 (P39)

北前船ストーリーが日本遺産として認定されたことから、広域連携による「北前船」のブランド化の推進、情報発信、普及啓発、環境整備を行います。



86 北前船の里魅力再生調査事業 3,000 千円 (P39)

北前船の里資料館を核とした橋立船主集落の魅力再生を図るための調査を行います。

87 (新規) 北前船古文書デジタル化事業 1,250 千円 (P39)

北前船の里資料館が所蔵する古文書のうち、元家主・酒谷家の古文書をデジタル化し、適正な保存とともに、ふるさと学習等での活用を図ります。

88 旧新家住宅保存修理事業 4,600 千円 (P42)

大聖寺地区にある市指定文化財「旧新家住宅」について、地域の交流や活性化に役立つ場所としての整備に向けた実施設計を行います。

89 旧よしのや依緑園別荘整備事業 26,500 千円 (P51)

山中温泉地区にある昭和天皇をはじめとする著名人らが訪れた「旧よしのや依緑園別荘」について、文化観光施設として整備するための建物改修や庭園整備に向けた実施設計を行います。

90 KAGAあんしんネット推進事業 84,762 千円 (P14)

全市域を対象とした乗合タクシーの運行委託、生活バス路線、キャンバスの運行助成を行います。

91 (新規) 乗合タクシーWeb 予約・配車システム導入事業 4,530 千円 (P14)

利用者の利便性を高めるため、乗合タクシーのWebからの予約を可能とするとともに、予約から配車、運行経路作成、利用状況を把握するシステムを導入します。

92 地域交通利用促進事業 9,503 千円 (P14)

キャンバス停留所の配置や乗合タクシー等の利用促進に係る費用を負担し、地域交通の充実を図ります。



93 加賀ごみ処理施設（焼却施設）・リサイクルプラザ基幹的設備改良事業 1,035,200 千円（P24）



平成8年から稼働している加賀ごみ処理施設・リサイクルプラザについて、安全で安定した操業ができるよう設備の更新を行います。

94 （新規）災害廃棄物処理計画策定事業 2,800 千円

国の災害廃棄物処理指針に基づき、災害により発生が想定される災害廃棄物の処理体制や処理方法を定める計画を策定します。

95 （新規）AⅠ道路パトロールシステム研究事業 1,700 千円

道路のひび割れや壁の落書き等を地図情報とともに市民から通報してもらうシステムや、パトロール車につけたカメラ画像から道路の損傷状況をAⅠが分析するシステム等、次世代技術を活用した道路管理体制の構築を目指します。

96 市道A第60号線（松島橋）整備事業 105,000 千円

幅員が狭く、老朽化している松島橋を架け替えるとともに、前後の道路を拡幅します。

97 市道C第73号線道路改良事業 74,100 千円（P46）

深田町、宮町から主要地方道小松加賀線への交通を確保するため、道路改良を行います。



98 市道D第190号線こおろぎ橋架替事業 179,200 千円（P47）

総ヒノキ造りの木橋であるこおろぎ橋を架け替えます。2019年10月完成予定

99 （新規）山中温泉地区都市再生整備計画事業 55,600 千円（P49）

都市再生法に基づく計画に沿って、山中温泉中心部の菊の湯周辺の賑わい拠点と散策ルートを整備し、温泉街の魅力向上を図ります。

100 動橋住宅建替事業 130,100 千円

市営住宅基本計画に基づき、市営住宅の集約を図るため、瑞穂団地を建て替えます。平成31年度（2019年度）で完了する予定です。

101 （新規）紙谷用水路水管橋架替事業 6,600 千円

山中温泉こおろぎ町地内の、国道364号線上に架かる紙谷用水路の水管橋の架替えに向けた実施設計を行います。

102 下水道事業ストックマネジメント修繕改築計画策定事業 28,200 千円

片山津処理区の施設（管路・ポンプ場等）の老朽化に対する改修を行うために、効果的な修繕改築計画を策定します。

将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり（基本方針7）

103 （新規）シティプロモーション活動事業 15,500 千円（P13）

本市の魅力を発信するシティプロモーションの調査研究を行うとともに、職員対象に研修を行います。また、ホームページの刷新とAIを活用した検索機能の強化を図ります。